

文翔館 【山形市】

文翔館は、大正5年6月に建てられたイギリス・ルネッサンス様式を基調としたレンガ造りの建築物です。昭和59年に大正初期の洋風建築を代表する貴重な遺構として、国の重要文化財に指定されました。その後、昭和61年から修理工事を始め、10年の歳月をかけて完成、現在は山形県郷土館「文翔館」として一般公開されています。忠実に修復された建物や豪華な内装は、大正ロマンの古き良き時代を感じさせてくれます。

館内には山形県の歴史と暮らしに関する展示コーナーなどもあり、山形県のそれぞれの時代での暮らしの様子が紹介されています。また、県会議事堂の議場ホールは、コンサートや演劇公演、地域イベントなどの文化活動に利用され、多くの県民に親しまれています。



中学3年間のまとめ教材は山形教育用品へ

「マイペース」



学宝社

「自習教室」



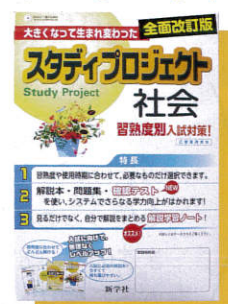
正進社

「新研究」



新学社

「スタディプロジェクト」



新学社